

ごみ減量化専門部会での調査審議事項について

1. 計画における具体的な数値目標等の設定

①ごみ処理の目標(ごみの半減)

- ・減量化目標（家庭系・事業系それぞれの）
- ・再資源化目標
- ・最終処分量の目標
- ・目標達成に向けた取り組み
（市民として、事業者として、行政として、及び三者の協働としての）
- ・その他

②ごみ減量化対策について

- ・資源ごみの多分別化
- ・ごみ処理手数料の見直し
- ・家庭系ごみ有料化
- ・事業系ごみ有料指定袋制の導入
- ・その他

2. ごみ減量化専門部会での審議事項

①ごみ半減という高い目標の中で、長期的視点に立った今後の生駒市のごみ減量化・再資源化のあり方について審議していただき、それを踏まえ生駒市が原案(骨子案)を策定し、来年早々に「ごみ減量化専門部会」に提示するとともに、審議願い確定していきたい。

②具体的な審議事項としては、以下のような検討テーマが考えられるが、次回の勉強会までに個々で考えてきていただきたい。ただし、年内に検討していく必要があり、数多くのテーマの検討は無理であり、重要と考えるテーマに絞って議論していただきたい。

(検討テーマの例)

- 資源ごみの多分別化等、今後の分別収集のあり方について
- バイオマス系廃棄物（生ごみ、剪定枝等）への対応（堆肥化、バイオガス化等）
- 地域や市民活動によるごみ減量の取り組みの活性化

- 市民と事業者等との連携による5R{リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生使用)、リフューズ(拒否)、リペアー(修理)}の促進
- ごみ処理経費の適正負担のあり方
- 環境教育・学習・啓発の充実について

③開催予定

- ・専門部会5回程度
- ・勉強会3回程度